

事業コード	R2-建-継-01		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方街路交付金事業		部局課室名	建設部 都市計画課
事業種別	現道拡幅		班 名	都市整備班 (tel)018-860-2443
路線名等	都市計画道路 停車場栄町線		担当課長名	栗田 亨
箇所名	由利本荘市裏尾崎町		担当者名	天野 啓秀
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	安全で安心な生活環境の確保
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	05	施策目標(指標)名	コンパクトで魅力のあるまちづくりの推進

1. 事業の概要

事業期間	H25 ～ R5 （11年）		総事業費	30.4 億円	国庫補助率	0.6490																																																											
事業規模	延長 L＝389m 幅員 W＝6.0（18.0）m																																																																
事業の立案 に至る背景	（都）停車場栄町線（県道名：（一）羽後本荘停車場線）は、JR羽後本荘駅から西に延びる延長1,920mの幹線街路である。沿線には銀行や商店などが建ち並び、また周辺には公共施設（由利本荘市役所、本荘合同庁舎）や病院、小学校などが立地しており、中心市街地を形成する重要な位置付けとなっているが、当該区間L＝389mだけがバス路線や通学路になっているにもかかわらず、幅員が7m程度と狭隘で、歩道も無く、危険な状態となっている。 周辺では、土地区画整理事業や都市再生整備計画事業など、市施行のまちづくり関連事業を実施しており、当該街路事業が市施行事業と一体となって周辺のまちづくりに寄与するものである。																																																																
事業目的	○バス交通を含めた都市内交通の円滑性確保 ○通学路の安全確保と地域住民の安全性向上 ○緊急輸送道路としての機能確保 ○中心市街地の活性化 ○公共公益施設へのアクセス向上																																																																
事業費内訳 事業内容 （単位：千円）	<table><tr><td colspan="2"></td><td>計画時</td><td>評価時</td><td>増減</td><td>理由等</td></tr><tr><td rowspan="3">事業費内訳</td><td>事業費</td><td>3,000,000</td><td>3,040,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>経費</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>工事費</td><td>250,000</td><td>250,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">事業内容</td><td>用補費</td><td>2,600,000</td><td>2,600,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>150,000</td><td>190,000</td><td>40,000</td><td>埋蔵文化財発掘調査費等の増</td></tr><tr><td>国庫補助</td><td>2,100,000</td><td>1,972,960</td><td>-127,040</td><td>事業費増、補助率の変更による</td></tr><tr><td>県債</td><td>648,000</td><td>796,000</td><td>148,000</td><td>事業費増、補助率の変更による</td></tr><tr><td>その他</td><td>180,000</td><td>182,400</td><td>2,400</td><td>事業費増による</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>72,000</td><td>88,640</td><td>16,640</td><td>事業費増、補助率の変更による</td></tr><tr><td>事業内容</td><td colspan="2">道路改築 L＝389m</td><td>道路改築 L＝389m</td><td></td><td></td></tr></table>								計画時	評価時	増減	理由等	事業費内訳	事業費	3,000,000	3,040,000	0		経費					工事費	250,000	250,000	0		事業内容	用補費	2,600,000	2,600,000	0		その他	150,000	190,000	40,000	埋蔵文化財発掘調査費等の増	国庫補助	2,100,000	1,972,960	-127,040	事業費増、補助率の変更による	県債	648,000	796,000	148,000	事業費増、補助率の変更による	その他	180,000	182,400	2,400	事業費増による	一般財源	72,000	88,640	16,640	事業費増、補助率の変更による	事業内容	道路改築 L＝389m		道路改築 L＝389m		
		計画時	評価時	増減	理由等																																																												
事業費内訳	事業費	3,000,000	3,040,000	0																																																													
	経費																																																																
	工事費	250,000	250,000	0																																																													
事業内容	用補費	2,600,000	2,600,000	0																																																													
	その他	150,000	190,000	40,000	埋蔵文化財発掘調査費等の増																																																												
	国庫補助	2,100,000	1,972,960	-127,040	事業費増、補助率の変更による																																																												
	県債	648,000	796,000	148,000	事業費増、補助率の変更による																																																												
	その他	180,000	182,400	2,400	事業費増による																																																												
一般財源	72,000	88,640	16,640	事業費増、補助率の変更による																																																													
事業内容	道路改築 L＝389m		道路改築 L＝389m																																																														
事業の進捗状況	○令和元年度末で事業進捗率は70％（用地進捗率82％）																																																																
事業推進上の課題	○埋蔵文化財調査（代官小路遺跡）																																																																
関連する計画等	県が策定する「都市計画区域マスタープラン」 市が策定する「都市計画マスタープラン」 市の「本荘市街地地区都市再生整備計画」																																																																
情勢の変化及び長期継続の理由	本荘市中央地区土地区画整理事業がH25年度に完了。 本荘市街地地区都市再生整備計画事業で整備した文化交流館（カダーレ）がH23年度に供用。 一級河川子吉川に架かる由利橋の架替工事がH24年度に完了。																																																																
事業効果把握の手法及び効果	<table><tr><td>指標名</td><td colspan="5">都市計画道路整備率</td></tr><tr><td>指標式</td><td colspan="5">整備済み延長／都市計画決定延長</td></tr><tr><td>指標の種類</td><td>○ 成果指標</td><td>● 業績指標</td><td>低減指標の有無</td><td colspan="2">○ 有 ● 無</td></tr><tr><td>目標値 a</td><td colspan="2"></td><td>データ等の出典</td><td colspan="2">秋田県の都市計画</td></tr><tr><td>実績値 b</td><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>達成率 b／a</td><td colspan="2">100％</td><td>把握の時期</td><td colspan="2">令和2年8月</td></tr></table>						指標名	都市計画道路整備率					指標式	整備済み延長／都市計画決定延長					指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		目標値 a			データ等の出典	秋田県の都市計画		実績値 b						達成率 b／a	100％		把握の時期	令和2年8月																								
指標名	都市計画道路整備率																																																																
指標式	整備済み延長／都市計画決定延長																																																																
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																													
目標値 a			データ等の出典	秋田県の都市計画																																																													
実績値 b																																																																	
達成率 b／a	100％		把握の時期	令和2年8月																																																													

前回評価結果等	☒ 選定または継続 ☐ 改善 ☐ 見直し ☐ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし。
	②指摘事項への対応
	特になし。

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	幅員が7 m程度と狭隘でありながら、JR羽後本荘駅に直結するバス路線となっており、駅方向（東側）に63便／日、国の合同庁舎方向（西側）に64便／日と非常に多く、また現道に歩道は無いが通学路にも指定されており、歩行者の安全確保と通行の利便性向上のためにも必要な事業である。	23点
緊 急 性	幅員が狭く交通事故や車両同士の接触事故が発生しており、早急な対策が必要な区間となっている。 当該区間の前後はすでに改良済みで、歩道も整備されていることから、歩行者の安全確保が急務の区間となっている。	10点
有 効 性	由利本荘市の中心市街地を通る路線となっていることから、道路拡幅による商店街の活性化やにぎわいの創出など、まちづくりへの貢献度が高い事業となっている。 また、由利本荘市街地の二次医療施設へのアクセス道路としての活用も見込まれる。	25点
効 率 性	地元住民が参加した「まちづくり協議会」において、都市計画決定された道路幅員27 mを、当該区間周辺のまちづくりに合った道路幅員18 mとして都市計画変更した。 これにより、用地補償費や工事費等の縮減にもなっている。 事業の費用便益比（B/C）は、1.05である。	18点
熟 度	地元住民が参加した「まちづくり協議会」で、当該区間を含む広い範囲でまちづくりの方向性が示されており、地元住民が当該事業の重要性を十分に理解しているものと判断できる。 現在も継続的に「大門・本町通りまちづくり委員会」の総会等が開催され、歩道のデザインや、地区計画等について打合せが行われており、地元住民の熟度も高まっている。	11点
判 定	ランク（ ☒ Ⅰ ☐ Ⅱ ☐ Ⅲ）	87点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	☒ 継続 ☐ 改善して継続 ☐ 見直し ☐ 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (R2-建-継-01)
箇所名 (由利本荘市裏尾崎町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	都市計画道路の規模及び機能				
	道路の規模及び分類	幹線街路	4	4	幹線街路
		補助幹線街路	2		
		上記以外の補助幹線街路など	0		
	都市構造上の機能	放射環状道路	4	2	都心軸を補完する道路
		都心軸を補完する道路	2		
		その他の道路	0		
	現況道路における問題箇所				
	交通容量不足 (現道混雑度1.0以上)	該当	1	0	0.20 (H27センサス)
		非該当	0		
	主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和 に効果のある道路	該当	2	2	西裏尾崎町交差点 東裏尾崎町交差点
		非該当	0		
	狭隘道路 (1車線道路・一方通行道路)	該当	2	0	現状: W=6.8m
		非該当	0		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令又は県の基準に達しない道路)	該当	2	0	現状: 直線道路
		非該当	0		
	バス路線	該当	2	2	羽後交通(本荘・伏見線 福祉エリア線ほか)
		非該当	0		
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む)	該当	4	4	現状: 歩道なし
		非該当	0		
	通学路指定	該当	2	2	尾崎小学校指定 交通安全指定
		非該当	0		
	人身事故発生地点	該当	2	2	14件(H19～H29)マッチングデータ (重傷3、軽傷11)
		非該当	0		
	交通状況の変化				
	この事業の目的が失われるような交通 状況の変化はない(交通量、渋滞長等)	該当	5	5	交通量、渋滞ポイント等 状況の変化は無い
		非該当	0		
	計		30	23	
緊急性	防災機能向上への貢献度				
	・ 緊急輸送道路	該当項目 2 以上	7	7	第2次緊急輸送道路 延焼防止(7.8m→18.0m)
	・ 避難路	該当項目 1	5		
	・ 老朽橋梁又は耐震性の劣る橋梁の架替・補強	該当項目 0	0		
	・ 延焼防止(現況幅員W<12m→拡幅後W≥12m)				
	・ 無電柱化計画				
	関連事業の有無				
	公共公益施設等アクセス (市町村役場・医療機関・学校・公民館など)	該当	3	3	市役所、カダレー等(市) 本荘合同庁舎(国)
		非該当	0		
	計		10	10	
有効性	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度				
	・ DID区域内	該当項目 2 以上	10	10	DID区域内 区画整理事業との連携 無電柱化計画 商業地域
	・ 市街地再開発・区画整理等との連携	該当項目 1	5		
	・ 景観、中心市街地の活性化やまちづくりに資する				
	・ 商業地域内				
	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度				
	・ 高速ICアクセス	該当項目 2 以上	5	5	【アクセス】 ・ JR羽越線羽後本荘駅 特急いなほ ・ 本荘公園(観光地)
	・ 港湾・空港アクセス	該当項目 1	3		
	・ 新幹線駅又は特急停車駅へのアクセス	該当項目 0	0		
	・ 主要な観光地へのアクセス				
	・ 駅前広場の造成				
	・ 広域道路整備計画				
	安全で快適な生活環境への貢献度				
	・ バリアフリー	該当項目 2 以上	5	5	歩道のセミフラット化 二次医療: 本荘第一病院 堆雪幅の確保: 路肩W=1.5m
	・ 二次・三次医療施設へのアクセス	該当項目 1	3		
	・ 消融雪施設又は流雪溝の整備	該当項目 0	0		
	・ 堆雪幅の確保				
	・ 道路緑化の推進				
	社会情勢の変化				
	社会情勢の変化による事業の 有効性	有効性が高い	5	5	特に情勢の変化は無く、 当該区間を早急に解消する 必要がある。
		低下傾向	3		
		有効性が低い	0		
	計		25	25	

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (R2-建-継-01)
箇所名 (由利本荘市裏尾崎町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
効率性	費用便益比(B/C)				
	費用便益比(B/C)	1. 0以上	5	5	B/C=1. 0 5
		1. 0未満	0		
	計画交通量				
	計画交通量	10,000台/日以上	5	3	5, 500台/日
		4,000台/日以上10,000台/日未満	3		
		1,000台/日以上4,000台/日未満	2		
		1,000台/日未満	0		
	コスト削減・リサイクル推進貢献度				
	・コスト削減に積極的に取り組んでいる	該当項目 2以上	5	5	現場発生材の再資源化 再生骨材、再生合材、リサイクル製品(側溝等)の利用
	・廃棄物の発生抑制、再資源化及び適正処理	該当項目 1	3		
	・リサイクル製品、再生骨材等の使用	該当項目 0	0		
	・新工法・新技術の採用				
	事業中止又は休止による影響				
	事業を中止・休止した場合の成果に対する影響	代替手段がなく、影響が大きい	5	5	交通渋滞の解消、通学路の危険除去が困難となる。
		代替手段はあるが、影響が大きい	3		
		代替手段があり、影響が小さい	0		
	計		20	18	
熟 度	事業の進捗状況				
	事業進捗率 (事業費ベース)	計画通り又は計画より進捗している	5	2	R1末(事業費ベース) 70%
		概ね進捗(80~100%未満)	4		
		計画より遅れている(50~80%未満)	2		
		計画よりかなり遅れている(50%未満)	0		
	用地買収進捗率 (用地面積ベース)	計画通り又は計画より進捗している	5	4	R1末(事業費ベース) 82%
		概ね進捗(80~100%未満)	4		
		計画より遅れている(50~80%未満)	2		
		計画よりかなり遅れている(50%未満)	0		
	地域の協力体制				
	・事業推進のための各種協議会等が設置されている	該当項目 2以上	5	5	大門・本町通りまちづくり委員会 地元要望あり
	・地域住民の取り組みが積極的である	該当項目 1	3		
	・市町村自ら積極的に用地交渉など事業の推進に関与している	該当項目 0	0		
	・地元要望がある				
	計		15	11	
合 計			100	87	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		